

拠出金名:レパトワール信託基金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				0千円(注1)	
国際機関等名	国際連合(政務局レパトワール信託基金) (英文名称・略称) United Nations/Trust Fund for Updating The Repertoire of The Practice of The Security Council				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省総合外交政策局国連政策課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	0	0		-	-
平成18年度	0	0		-	-
平成17年度	11,770	110		1米ドル = 107円	82
当該拠出金の目的・用途等		レパトワール発行の推進・支援			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年6月30日現在)				国際機関等の財政 (2006-07年2ヶ年決算)	
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率 (%)	当該年度の収入 347,066米ドル	
1位	英国	250.4	35.8	当該年度の支出 258米ドル	
2位	日本	110	15.7	次年度への繰越 346,808米ドル	
3位	ドイツ	87.4	12.5	会計検査機関名	
4位	韓国	40	5.7	国連会計検査委員会	
4位	ギリシャ	40	5.7	(UN Board of Auditors)	
(現在の構成員の出身国:南ア、仏、中国)					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
安全保障理事会の実績・慣行等をまとめたレパトワール(手続の手引き書)の作成は、同理事会の透明性の向上及び運用の効率化に寄与するものとして重要な意義を有する。レパトワールの作成・発行の遅れを解消するために設立されたレパトワール信託基金への拠出は、国連の諸活動に積極的に貢献していく姿勢を国際的に示すとともに、我が国が目指す包括的な安保理改革実現への取組の一環としても有意義なものである。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
インターンを利用するなどして、レパトワール作成作業をより効率化することを目指している。					
邦人職員数	2人		当該機関全体の職員数	29人	
うち幹部以上(注3)	うち 0人		及び邦人職員が占める率(注3)	6.9%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
本件拠出とともに、本件信託基金の管理を行っている国連事務局の政務局安保理部に対し、同部における邦人職員の増強を働きかけており、今後とも働きかけを継続していく予定である。					

(注1) 本件拠出金は、我が国として平成17年度以降は拠出していないため、よって平成19年度の拠出は無い。

(注2) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注3) 本欄の人数は、国連事務局政務局安保理部の職員数について掲載している。